

1 この科目の構成について

教 科	地理歴史科	科 目	地理 B	単 位	3単位
対象コース	カレッジ・AC理系	対象クラス	3年2, 3組		
使用教科書	新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)				
使用副教材	18サクシード地理 (啓隆社) みんなのセンター教科書 (旺文社)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	<p>(1) 私達の世界は、どのような資源や産業の生産活動により成立しているのでしょうか。そして、その生産活動は、どのような変化を遂げるのでしょうか。資源・産業に関する知識を深め、今までの変化、これからの変化を読み取る力を身につけて下さい。</p> <p>(2) 私達の世界は、さまざまな指標を用いることにより、さまざまな地域に区分されています。指標である自然・産業・人種・民族・国家に関する知識を深め、地域の特色及び地域間に共通するもの・相違するものを把握する力を身につけて下さい。</p> <p>(3) 私達の世界の現在と未来を正しく把握するために、情報を集める力・情報を分析する力を身につけて下さい。</p>
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	<p>(1) 農業・林業・水産業→各産業の特色、特色ある生産地域、生産量・輸出入量の特色について学びます。</p> <p>(2) エネルギー資源・鉱産資源→各産業の特色、特色ある生産地域、生産量・輸出入量の特色について学びます。</p> <p>(3) 工業→工業の発達、工業の立地・移動、世界の工業地域の分布・特色、日本の工業地域の分布・特色について学びます。</p> <p>(4) 交通・通信・貿易・商業・観光業→交通機関・通信手段の特色、貿易構造、商業の形態、観光業の特色について学びます。</p> <p>(5) 人口・村落・都市→人口の分布・構成・移動・問題、村落と都市の立地・種類、都市の発達・機能・問題について学びます。</p> <p>(6) 生活文化・民族・宗教・国家→生活文化の特色、人種と民族の分類・問題、国家と国家群の種類、領土問題について学びます。</p> <p>(7) 地誌→今までの学習のまとめとして、各国の自然・産業・生活文化などについて学びます。</p>
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
	<p>(1) 学校 授業では、先生の説明に大切な内容が含まれています。「自分でも大切だと思った内容」を追加してノートに書き込みましょう。また、学んだ知識を活用する・わかりやすく伝える・友達と話し合うことを通して、さまざまな考えを深めるようにしましょう。</p> <p>(2) 家庭 ① 復習は必要です。授業で理解できなかった用語や内容は、その日のうちに教科書などで確認しておきましょう。 ② 新聞やテレビのニュースを必ず見ましょう。問題を解く際に力強い味方になります。常識で解ける問題もあります。 ③ 模試の見直しの際、模範解答の解説書を熟読し、「正解の根拠・地図や統計読解のテクニック」を理解し覚えましょう。</p>

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	<p>(1) 定期考査→1年4回の定期考査は、授業の学習内容から出題します。</p> <p>(2) 発表→ 授業内容がしっかり理解できているか発表してもらいます。</p> <p>(3) 春休み・夏休みの課題→予習・復習用の課題です。休み明けに確認テストを行い、理解度を評価します。</p> <p>(4) 地図・統計資料の課題→地図・統計資料を用いた各種作業を行い、作業内容の理解度や正確さを評価します</p> <p>(5) 協働学習への関わり方→意見を伝え、意見を聞き、意見をまとめるなど協働学習への関わり方を確認します。</p>
評価における定期考査の割合	
	70 %

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
	<p>(1) 関心・意欲・態度 授業における発言、課題や作業への取り組みが積極的であり、地理への関心を深め授業内容を進んで理解しようとしているのかを見ます。そのために、課題や作業の提出状況と内容を見ます。また、協働学習に対する取り組み姿勢を見ます。</p> <p>(2) 思考・判断 授業の各分野において、単に用語を暗記するだけでなく、地図や統計資料を用いての発展的な課題に対し、解答を見つけることができるのかを見ます。また、協働学習において、意見交換を通して自分の意見を進化させているのかを見ます。</p> <p>(3) 技能・表現 新聞やテレビで得た情報を、地理の学習内容に結びつけることができるか。また、授業の内容理解にどのような資料を用い、どのように活用するのがなどの技能を見ます。また、協働学習における意見の伝え方(表現力)も見ます。</p> <p>(4) 知識・理解 授業で学んだ自然環境・産業・資源について、基本的な用語や説明内容を正しく理解し、「ある地域の特色や地域間の共通性などをとらえる」という地理的な見方や考え方が身につけているのか見ます。</p>

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—	重視する評価の観点					
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知	
1	4	第3節 工業の発展と立地 (1) 近代工業の発展 (2) 工業立地 (3) 工業立地分類 (4) 工業の立地移動	①マニユファクチュア・蒸気機関・工場制機械工業を学びます。 ①立地因子・立地条件・ウェーバーの工業立地論を学びます。 ①原料指向型・市場指向型・電力指向型・臨海指向型を学びます。 ①アメリカ合衆国の綿工業の例・鉄鋼業の例を学びます。	●	●	●	●	
		第4節 ヨーロッパの工業 (1) 工業地帯の成立 (2) 各国の工業の特色 ① イギリス ② フランス ③ スペイン・オランダなど ④ スウェーデン ⑤ ドイツ ⑥ スイス・イタリア ⑦ ポーランド・チェコ	①内陸地域から臨海地域への移動・ブルーバナナを学びます。 ①ランカシャー・ブラックカントリー・北海油田を学びます。 ①ダンケルク・マルセイユ・トゥールーズを学びます。 ①ビルバオ・ロッテルダム・ユーロポートを学びます。 ①キルナ・エリヴァレ・イエーデポリを学びます。 ①ライン川・ルール炭田・ガストアルハイターを学びます。 ①工業の三角地帯・第三のイタリア・パノーニ計画を学びます。 ①シロンスク炭田・グダンスク・ボヘミアを学びます。	●	●	●	●	
第5節 アングロアメリカの工業 (1) アメリカ合衆国 (2) カナダ		①工業地域（ニューイングランド・五大湖沿岸など）を学びます。 ②工業地域の変貌（サンベルト・フロストベルト）を学びます。 ①トロント・モントリオール・ヴァンクーヴァーを学びます。	●	●	●	●		
第6節 ロシア及び周辺諸国の工業 (1) 社会主義国としてのソ連経済 (2) ソ連崩壊後のロシアの経済 (3) 工業地域		①計画経済・コンビナート方式・コンプレックスを学びます。 ①市場経済・エネルギー資源の開発・BRICSを学びます。 ①ロシア（アングラハイカル工業地域など）を学びます。 ②ウクライナ（ドニエプル工業地域など）を学びます。 ③アゼルバイジャン（バクー工業地域など）を学びます。 ④カザフスタン（カラガンダ工業地域など）を学びます。 ⑤ウズベキスタン（中央アジア工業地域など）を学びます。	●	●	●	●		
第7節 アジアの工業 (1) 工業発展の過程 (2) 韓国 (3) 中国 (4) 香港 (5) 台湾 (6) シンガポール (7) インド		①輸入代替型工業・輸出指向型工業・輸出加工区を学びます。 ①朝鮮戦争・漢江の奇跡・プサン・ポハン・ウルサンを学びます。 ①文化大革命・改革開放政策・世界の工場・郷鎮企業を学びます。 ②工業地域（東北・華北・華中・華南）・経済特区を学びます。 ①カオルン半島・ホンコン島・中継貿易港・一国二制度を学びます。 ①カオシュン・タイペイ・シンチューを学びます。 ①ジュロン工業地域を学びます。 ①ジャムシェドプル・ムンバイ・バンガロールを学びます。	●	●	●	●		
第8節 その他の国々の工業 (1) オーストラリア (2) メキシコ (3) ブラジル		①工業都市（シドニー・メルボルン・ブリスベン）を学びます。 ①マキラドーラ・NAFTA・メキシコシティを学びます。 ①サンパウロ・リオデジャネイロ・ベロオリゾンテを学びます。	●	●	●	●		
5		第9節 日本 (1) 工業の発展 (2) 主な工業地域 (3) 工業都市	①富国強兵・殖産興業・富岡製糸場・八幡製鉄所を学びます。 ②特需・太平洋ベルト・円高・エレクトロニクス産業を学びます。 ③工業地域（京葉・京浜・東海・中京・阪神など）を学びます。	●	●	●	●	
			第2編 地域開発と環境問題 第1節 世界の地域開発 (1) アメリカ合衆国 (2) 各国の地域開発 第2節 日本の総合開発 第3節 地球規模の環境問題 (1) 熱帯林の破壊 (2) 砂漠化 (3) 酸性雨 (4) オゾン層破壊 (5) 地球温暖化 (6) 環境問題への国際的取り組み (7) 日本の環境問題 (8) 環境保護の取り組み	■ 第1回定期考査 ①TVA・ニューディール政策・フーヴァーダムを学びます。 ①ボルガードン運河・DVC・サンメンシャダムを学びます。 ①特定地域総合開発計画・新産業都市・定住圏構想を学びます。	●	●	●	●
				①焼畑農業・放牧地の拡大・アグロフォレストリーを学びます。 ①サヘル・過放牧・過耕作・塩害を学びます。 ①硫酸化物・硫酸化物・森林の枯死・湖沼の酸性化を学びます。 ①フロンガス・オゾンホール・紫外線・皮膚ガンの増加を学びます。 ①温室効果ガス・海面の上昇・モルティブ・環境税を学びます。 ①かけがえのない地球・持続可能な開発・京都議定書を学びます。 ①足尾銅山鉱毒事件・四大公害・公害対策基本法を学びます。 ①ナショナルトラスト運動・エコツーリズムを学びます。	●	●	●	●

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点				
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知	
6		第3部 人類諸集団の系統地理						
		第1編 人口・人種・民族・国家・都市						
		第1章 人口問題						
		第1節 人口分布と人口構成			●	●	●	●
		(1) 世界の人口の分布	①エクメーネ・寒冷限界・乾燥限界・高距限界を学びます。 ②自然増加・社会増加・人口爆発・マルサスを学びます。 ③人口転換・多産多死・多産少死・少産少死を学びます。 ③人口ピラミッド(ピラミッド型・釣鐘型など)を学びます。 ①華僑・カストアルハイター・ヒスパニック・屯田兵を学びます。					
		(2) 人口移動						
		第2節 さまざまな人口問題			●	●	●	●
		(1) 日本	①ベビーブーム・団塊の世代・合計特殊出生率を学びます。 ①福祉国家・社会保障・少子化対策・育児休暇を学びます。 ①13億の人口・一人っ子政策・小皇帝・黒孩子・を学びます。 ①高齢化社会・合計特殊出生率・少子化などを学びます。					
		(2) スウェーデン						
		(3) 中国						
		第2章 人種・民族問題と生活文化						
		第1節 人種と民族			●	●	●	●
(1) 人種	①モンゴロイド・ネグロイド・コーカソイドを学びます。							
(2) 人種問題	①アパルトヘイト・WASP・白豪主義・多文化主義を学びます。 ①多民族国家・単一民族国家を学びます。							
(3) 民族								
第2節 言語			●	●	●	●		
(1) 言語の分類	①インド=ヨーロッパ語族・シナ=チベット語族を学びます。 ①フラマン語・ワロン語・ケバック州・プミプトラ政策を学びます。							
(2) 複数言語の国家								
第3節 宗教			●	●	●	●		
(1) 世界宗教	①カトリック・プロテスタント・イスラム教・仏教を学びます。 ①ヒンドゥー教・シーク教・ユダヤ教・儒教・道教を学びます。							
(2) 民族宗教								
第4節 民族問題			●	●	●	●		
(1) 民族紛争	①植民地分割・民族領域を学びます。 ①シンハリ人・シオニズム運動・チェチェン・フツ族を学びます。							
(2) 世界の民族紛争								
第5節 民族の共生			●	●	●	●		
(1) 難民	①パレスチナ難民・インドシナ難民・UNHCRを学びます。 ①マイノリティ・多文化主義・公用語を学びます。							
(2) 民族の共生								
第6節 世界の衣食住			●	●	●	●		
(1) 衣服の文化	①チマ=チョゴリ・アオザイ・サリー・ボンチョを学びます。 ①ナン・チャパティ・チューニョ・食物禁忌・ハラルを学びます。 ①日干しレンガ・ゲル・パオ・イグルー・高床式住居を学びます。							
(2) 食文化								
(3) 住まいの文化								
■ 第2回定期考査								
7		第3章 現代世界の国家と国家群						
		第1節 国家			●	●	●	●
		(1) 国家	①属領・東ティモール・コソボ・南スーダンを学びます。 ①主権・領土・領海・領空・国民・排他的経済水域を学びます。 ①君主国・共和国・単一国家・連邦国家・複節国を学びます。 ①ニューヨーク・安全保障理事会・国際司法裁判所を学びます。					
		(2) 国家の3要素						
		(3) 国家の分類						
		(4) 国際連合						
		第2節 国境と領有権問題			●	●	●	●
		(1) 国境	①自然的国境(河川など)・人為的国境(経緯線など)を学びます。 ①カシミール地方・南沙群島・竹島・尖閣諸島を学びます。					
		(2) 国境紛争及び領有権問題						
		第3節 国家間の結びつき			●	●	●	●
		(1) 先進国間の協力関係	①NATO・ブリュッセル・OECDを学びます。 ①EFTA・EU・NAFTA・ASEAN・APECを学びます。					
		(2) 地域的・経済的な協力関係						
第4章 村落・都市								
第1節 村落			●	●	●	●		
(1) 村落の立地	①新田集落・納屋集落・輪中集落を学びます。 ①塊村・円村・列村・路村・街村・宿場町・屯田兵村を学びます。 ①条里集落・名田百姓村・豪族屋敷村・隠田百姓村を学びます。 ◎ 道徳教育を実施							
(2) 村落の形態								
(3) 村落の発達(日本)								
2	8	第2節 都市		●	●	●	●	
		(1) 都市の立地	①平野・海洋・河川・湖沼などにおける立地を学びます。 ①田郭都市・ポリス・要塞都市・ハンザ同盟・首都を学びます。 ①市場町・港町・門前町・寺内町・城下町・宿場町を学びます。 ①直交路型・放射環状型・放射直交型・迷路型を学びます。 ①商圏・三大都市圏・広域中心都市・政令指定都市を学びます。 ①生産都市・交易都市・消費都市の代表例を学びます。					
		(2) 都市の発達の歴史						
		(3) 日本の都市の発達						
		(4) 都市の形態						
		(5) 都市の中心地機能						
(6) 機能による都市の分類								

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—	重視する評価の観点					
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知	
9		第5章 都市化と居住・都市問題	①メトロポリス・コナーベーション・メガロポリスを学びます。 ①都心・CBD・シティ・副都心・ターミナルを学びます。 ①スラム・スクオッター・プライメイトシティを学びます。 ①ドーナツ化現象・スプロール現象・インナーシティを学びます。 ①ウォール街・ハーレム・ジェントリフィケーションを学びます。 ①ストリートチルドレン・インフォーマルセクターを学びます。 ①交通渋滞・大気汚染・スモッグを学びます。 ①アメニティ・一掃型・修復保全型を学びます。 ①田園都市・レッチワース・大ロンドン計画・職住近接を学びます。 ①セーヌ川・シテ島・ラニデファンヌ・マレ地区を学びます。 ①臨海副都心・都心部への人口回帰を学びます。 ①中心業務地区・中心商店街・問屋街・副都心などを学びます。 ①同心円モデル・扇形モデル・多核心モデルなどを学びます。 ①リヤマ・アルパカ・ヤク・ラクダ・トナカイを学びます。 ①蒸気機関・フルトン・内燃機関・ライト兄弟を学びます。 ①新幹線・リアモーターカー・時間距離を学びます。 ■ 第3回定期考査	●	●	●	●	
		第1節 都市の発達と機能			●	●	●	●
		(1) 都市化						
		(2) 都市の地域分化						
		第2節 世界の都市・居住問題						
		(1) 大都市における都市・居住問題						
		(2) 先進国の都市・居住問題						
		(3) ニューヨークの住み分けと再開発						
		(4) 発展途上国の都市問題						
		(5) メキシコシティの都市問題						
		第3節 都市計画						
		(1) 都市計画						
(2) ロンドンの都市計画								
(3) パリの都市計画								
(4) 東京の都市計画								
第2編 変化する現代世界の地理的事象								
第1章 世界の交通・通信								
第1節 交通機関の発達				●	●	●	●	
(1) 原始的交通								
(2) 近代交通の発達								
(3) 日本における交通の発達								
10		第2節 交通機関の特徴	①ハブ空港・路線別輸送量・関西国際空港を学びます。 ①コンテナ・LNG・便宜置籍船・国際運河・国際海峡を学びます。 ②内陸水路交通・ライン川・ドナウ川・ミシシッピ川を学びます。 ①ICE・TGV・ユーロスター・パークアンドライドを学びます。 ①アウトストラダデルソーレ・トランスアマゾンアンを学びます。 ①ドルジバパイプライン・ベトロラインを学びます。 ①インテルサット・ランドサット・GPSを学びます。 ①デジタルディバイド・セキュリティ・著作権を学びます。 ①冷凍船・フェアトレード・南北問題・南南問題を学びます。 ①自由貿易・保護貿易・貿易摩擦を学びます。 ①グローバル化・多国籍企業・産業の空洞化を学びます。 ①IMF・GATT・IBRD・ドル危機・WTOを学びます。 ①加工貿易・FTA・EPA・セーフガードを学びます。 ①ODA・JICA・海外青年協力隊・NGOを学びます。 ①通勤圏・通学圏・買まわり品・最寄り品を学びます。 ①POSシステム・インターネット・ファストフードを学びます。 ①カード社会・クレジットカード・製造物責任法を学びます。 ①余暇時間・バカンス・リゾート・グリーンツーリズムを学びます。 ◎ センター試験に向けての問題演習 ◎ センター試験に向けての問題演習 ■ 第4回定期考査 ◎ センター試験に向けての問題演習	●	●	●	●	
		(1) 航空交通						
		(2) 水上交通						
		(3) 鉄道交通						
		(4) 自動車交通						
		(5) パイプライン						
		第3節 通信技術の発達						
		(1) 様々な通信技術						
		(2) 情報社会と問題点						
		第2章 世界の貿易						
		第1節 産業の国際化						
		(1) 国際分業の成立						
(2) 貿易の形態								
(3) 産業のグローバル化								
第2節 現代世界の貿易								
(1) 貿易の拡大と変化								
(2) 日本の貿易								
(3) 日本の経済協力								
第3章 行動空間の拡大								
(1) 行動圏の変化								
(2) 現代のサービス								
(3) 新しい消費形態と問題								
(4) 余暇活動の拡大								
11				●	●	●	●	
12				●	●	●	●	
1				●	●	●	●	